

「エンターテインメントの発想法」

(全 10 回・1 回 30 分)

小林雄次

第 8 回「ハリウッド映画に学ぶ王道の構成」

映画『タイタニック』に学ぶ王道の構成

【1】セットアップ……ファーストシーンのイメージ。主人公の欲求・目標・課題が紹介される。

【2】第一ターニング・ポイント……主人公が何かを決意し、一步を踏み出し、物語が大きく動き出す。

【3】お楽しみ……主人公が目標に向かって進んでいくメインプロット。事件プロット。この作品の一番の見どころ。

【4】サブプロット……主人公のドラマを補完する背景のプロット。心理プロット。もう 1 つのプロット。

【5】ミッド・ポイント……主人公の一時的な成功 or 失敗。

【6】喪失……主人公が挫折・失敗・墮落し、すべてを失う。時には死の気配が

漂う。

【7】第二ターニング・ポイント……主人公が何かを決意、あるいは解決し、クライマックスへ。

【8】フィナーレ……ラストシーンのイメージ。主人公は何を悟り、どうなるのか？

チェックポイント

- ・序盤で主人公の抱えている問題と欲求が提示されているか？
- ・第一ターニングポイントまでに主人公と主要キャラが登場しているか？
- ・第一ターニングポイントのタイミングが遅すぎないか？
- ・ターニングポイントで主人公が決断・選択しているか？
- ・メインプロットとサブプロットがあるか？
- ・メインプロットとサブプロットは、並行して進んでいるか？
- ・ミッドポイントで緊張感が高まっているか？
- ・「喪失」の時点で、主人公は物語の冒頭より絶望しているか？
- ・第二ターニングポイントで、主人公が決意・解決しているか？
- ・第二ターニングポイントは、納得し得る解決になっているか？
- ・主人公は変化しているか？